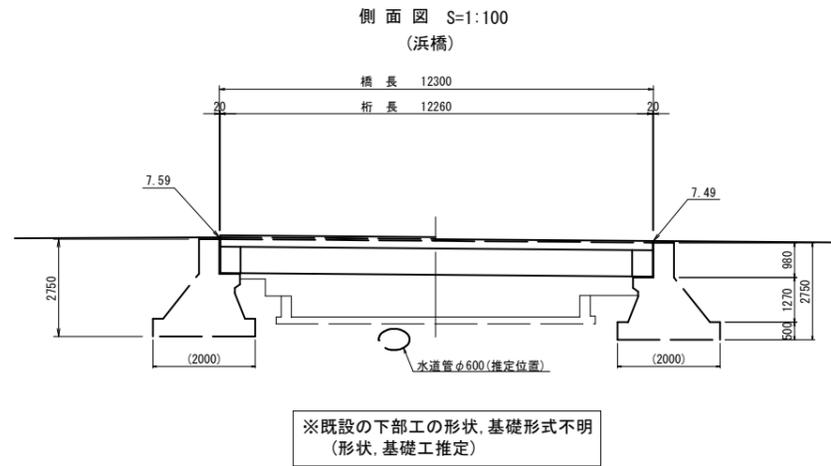


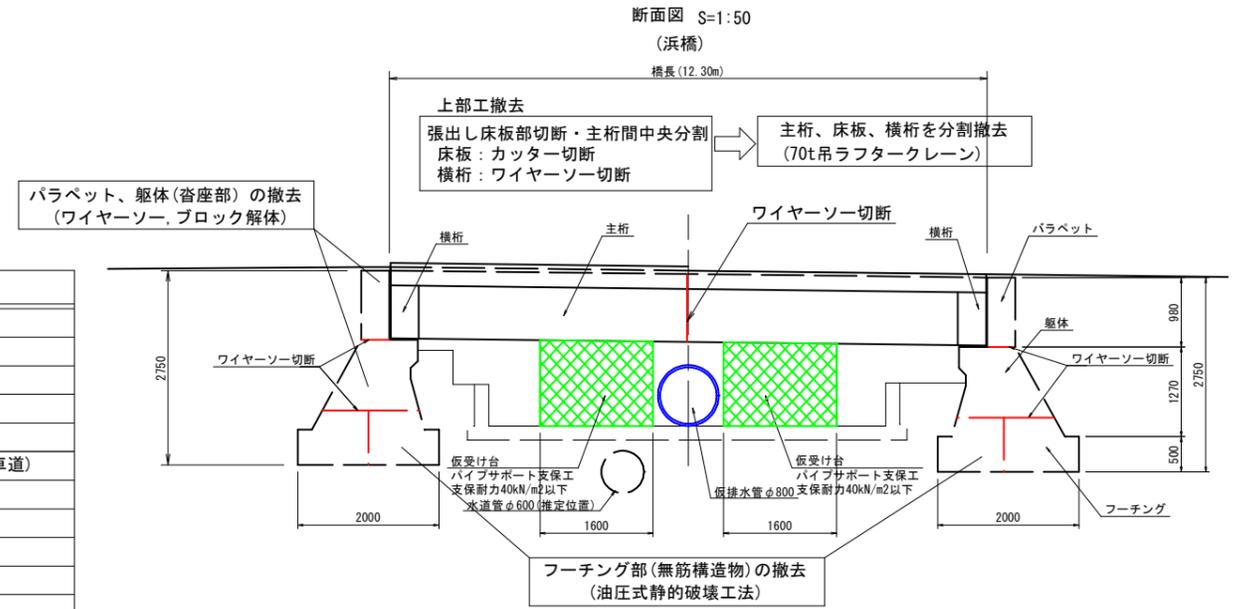
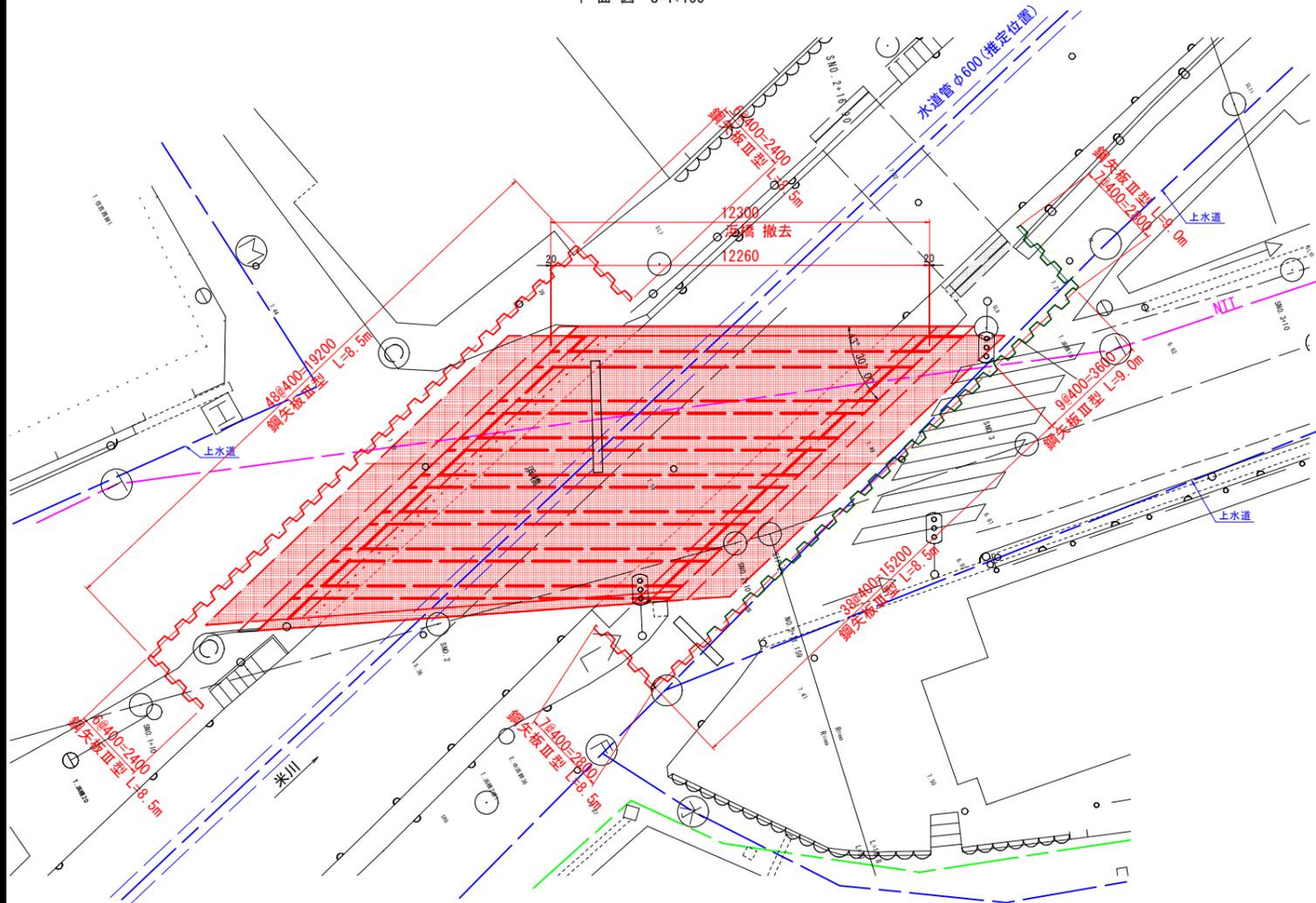
# 現橋撤去工一般図



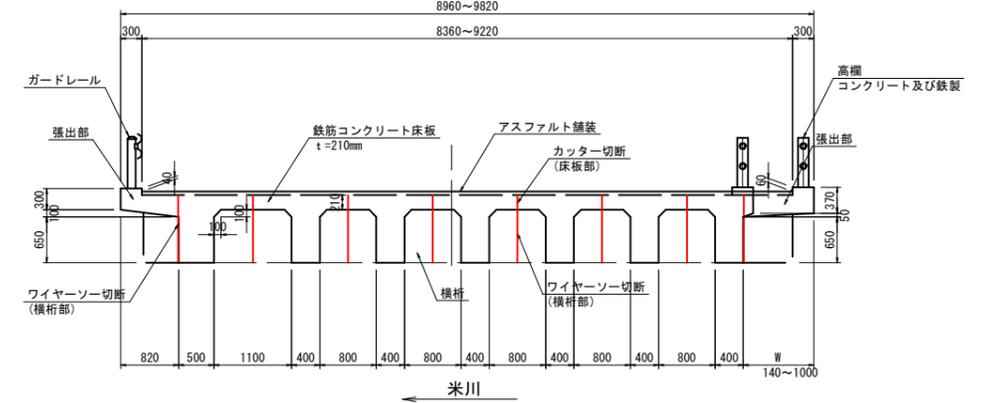
現橋の条件 (浜橋)	
橋梁名	浜橋
路線名	市道外浜街道線
設計荷重	不明
橋種	鉄筋コンクリートT桁橋
橋長	12.300m
幅員	有効幅員 8.36~9.22m(車道)
斜角	左43° 30'
上部工形式	鉄筋コンクリートT桁橋
下部工形式	橋台: 重力式橋台 (推定)
基礎工	不明
施工年度	昭和6年

DL=0.00

平面図 S=1:100



上部工断面図 S=1/50 (浜橋)

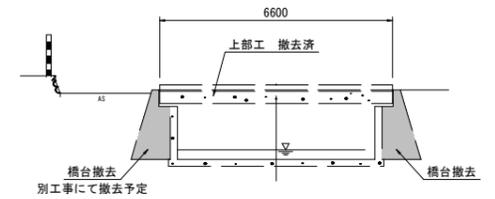


## 施工に関する留意事項等

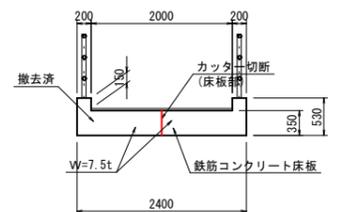
- 現橋の下部工形状について
  - 現橋下部工の形状は想定である。工事着手前に試掘等により下部工形状を把握し施工する必要がある。
  - 現橋下部工の形状により、掘削深さ・掘削幅(土留め工の範囲)の変更の可能性がある。
  - また、既設下部工のフーチング下面位置、既設橋の基礎工(杭基礎有無)により、新設橋の下部工の計画変更が必要となる可能性がある。
  - したがって、撤去時に既設橋の基礎面高、杭配置等の調査を実施すること。
- 重機、資材等の搬入について
  - 輸送経路となる道路の部材輸送上の条件(建築限界、交差点、橋梁の耐荷力)を確認しておくこと。
  - また施工時での付近交通の交通規制等の確認を行うこと。
- 支障物件
  - 地下埋設物  
N T T (橋梁に添架あり 5条+4条)、水道管(φ100, φ75埋設)、ガス管 → 移設が必要である
  - 架線  
N T T、中国電力等 → 施工時の仮移設 完成後の本移設が必要である。

## 歩道橋

側面図 S=1/100



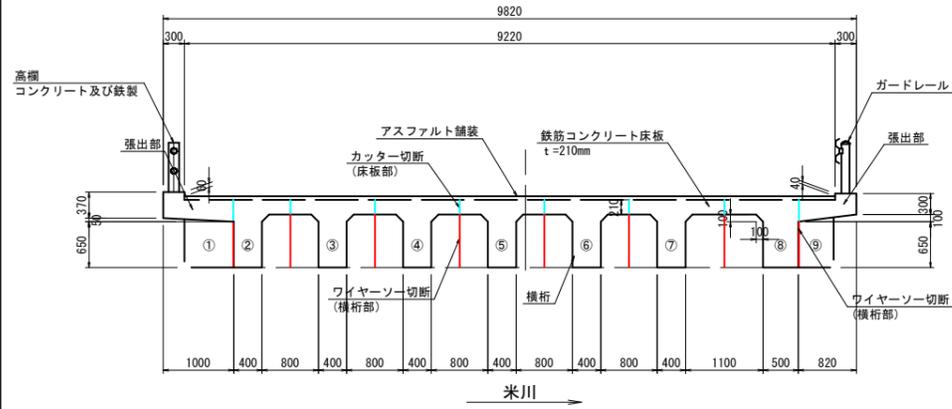
断面図 S=1/50



図面番号	第 1 号 4 枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事 現橋撤去工一般図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 現橋撤去工構造図(浜橋) (その1)

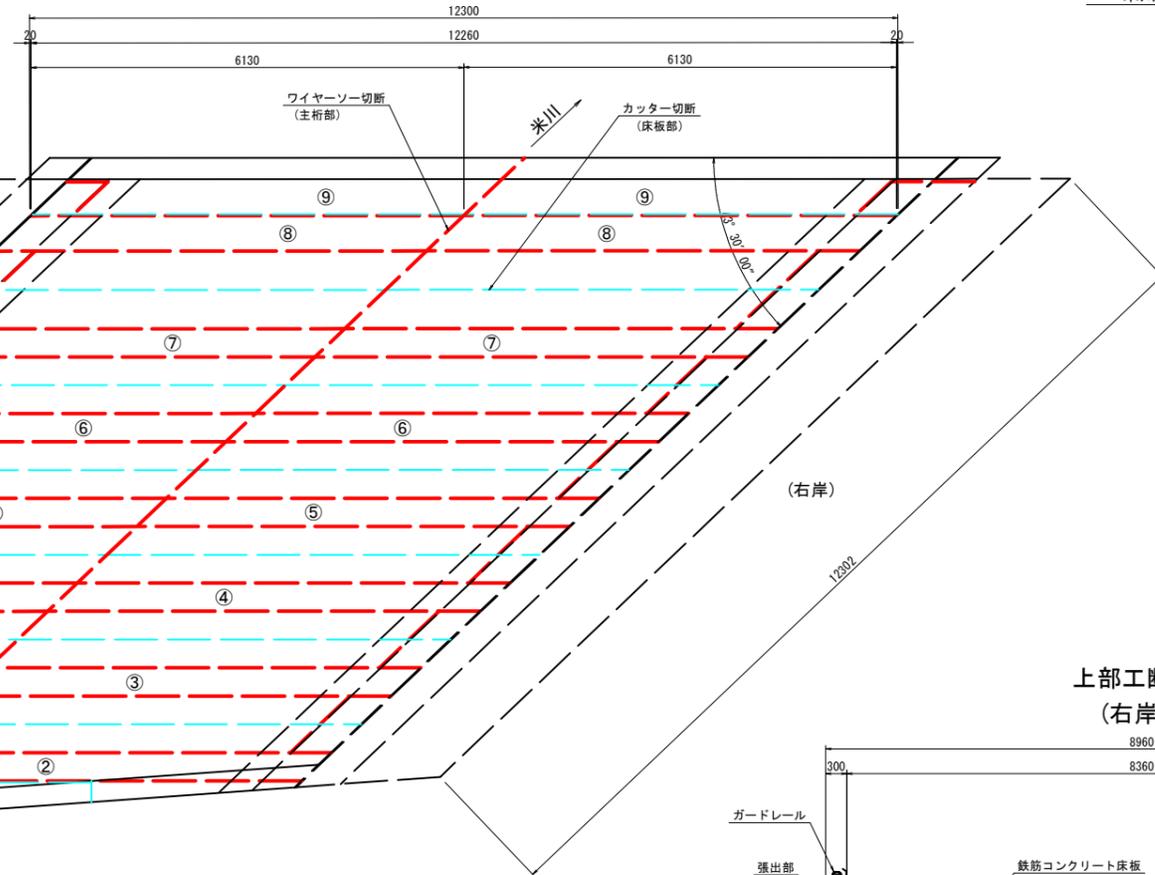
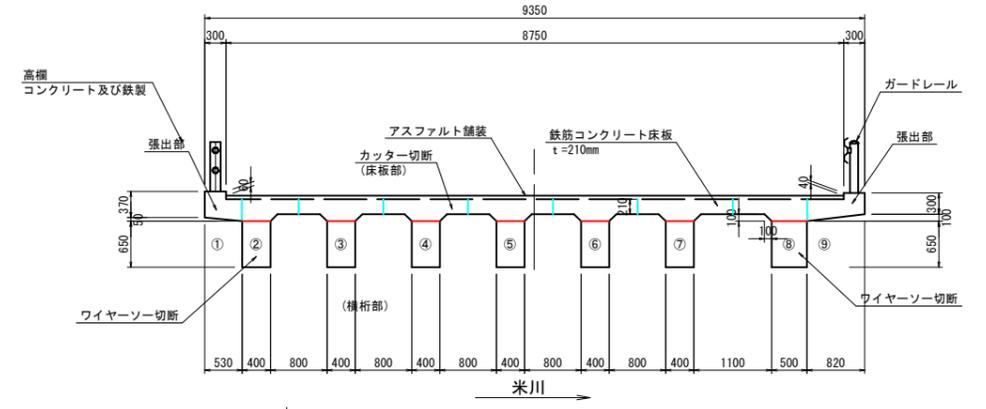
上部工断面図 S=1/50  
(左岸側)



平面図 S=1:50

平面図 S=1:50

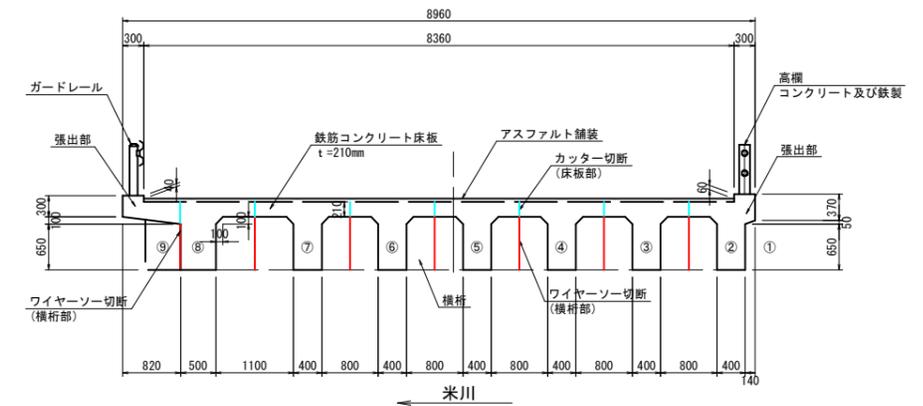
上部工断面図 S=1/50  
(中間部)



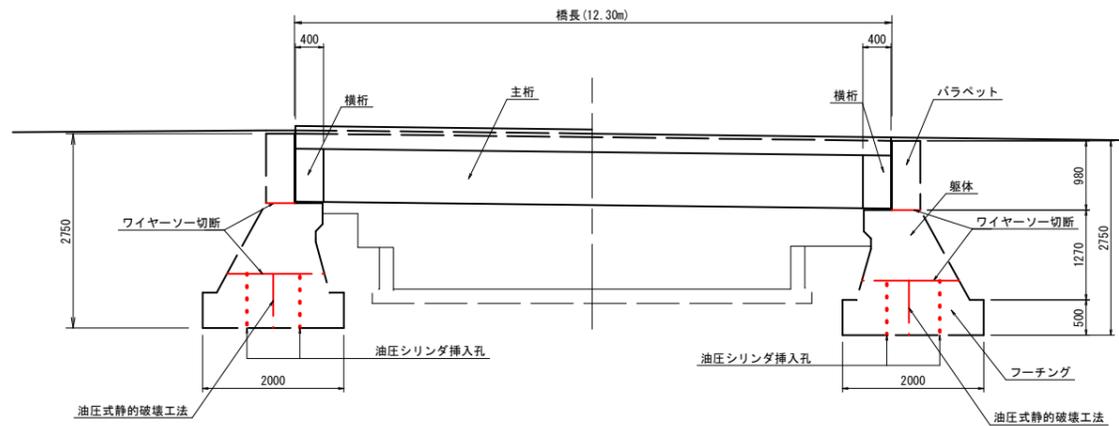
主桁、床板撤去数量表

番号	体積 (m3)	重量 (t)	分割重量 (t)	
			左岸側	右岸側
①	2.42	6.05	6.05	—
②	6.43	16.08	7.68	8.40
③	7.58	18.95	9.48	9.48
④	7.58	18.95	9.48	9.48
⑤	7.58	18.95	9.48	9.48
⑥	7.58	18.95	9.48	9.48
⑦	8.09	20.23	10.12	10.12
⑧	7.83	19.58	9.93	9.93
⑨	3.34	8.35	4.12	4.12

上部工断面図 S=1/50  
(右岸側)



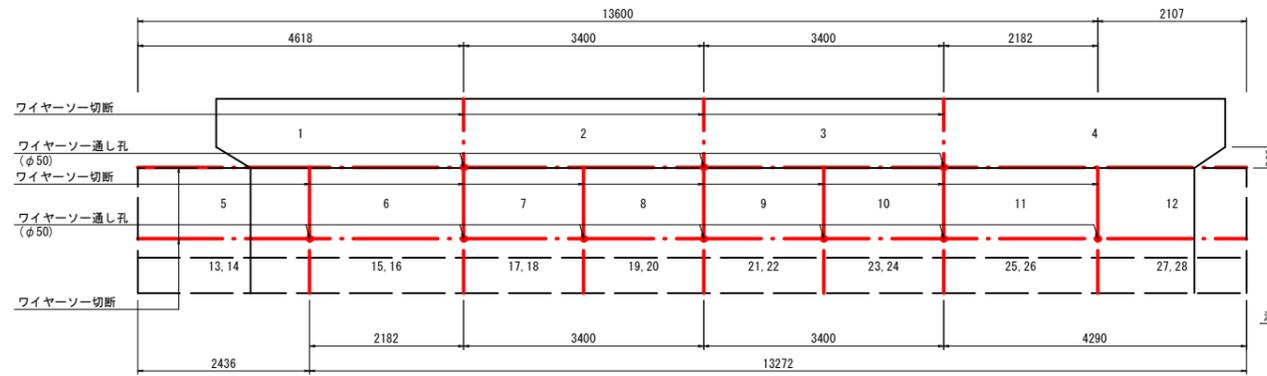
上部工側面図 S=1/50



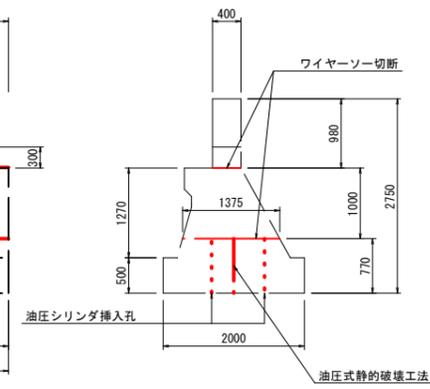
図面番号	第2号 4枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事 現橋撤去工構造図(その1)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 現橋撤去工構造図(浜橋) (その2)

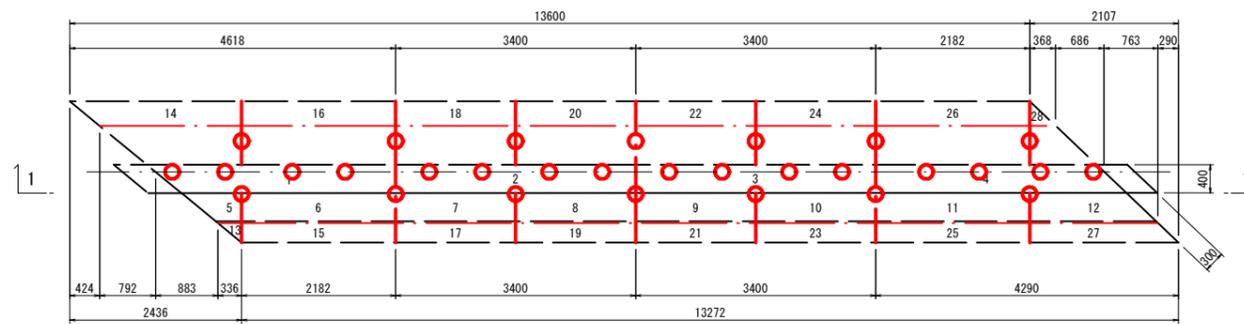
左岸橋台取壊し断面図 S=1:50  
1-1



左岸橋台側面図 S=1:50



左岸橋台取壊し平面図 S=1:50



○ : 油圧シリンダ挿入孔(φ200)  
削孔間隔 75cm以下

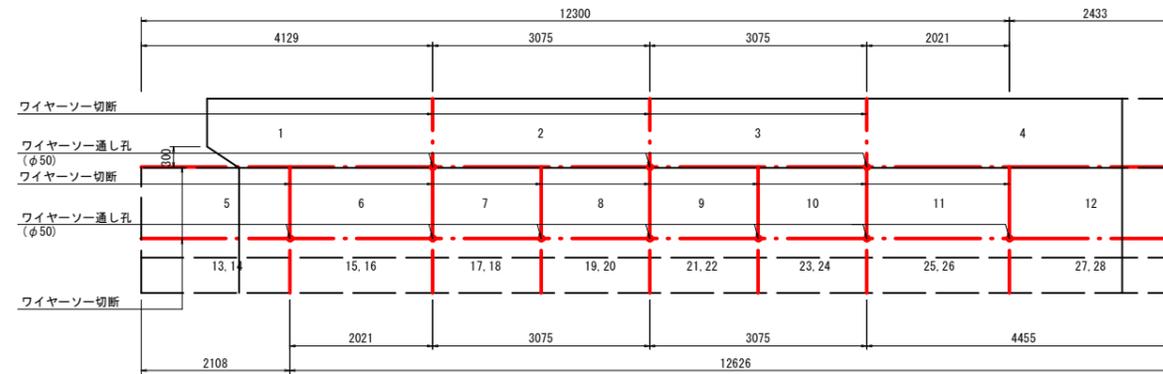
左岸下部工撤去数量表

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
体積 (m <sup>3</sup> )	1.47	1.36	1.36	1.48	1.17	2.18	1.70	1.70	1.70	1.70	2.18	1.09	0.43	1.28
重量 (t)	3.68	3.40	3.40	3.70	2.75	5.12	4.00	4.00	4.00	4.00	5.12	2.56	1.01	3.01
番号	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
体積 (m <sup>3</sup> )	1.53	1.53	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.53	1.53	1.11	0.37
重量 (t)	3.60	3.60	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	3.60	3.60	2.61	0.86

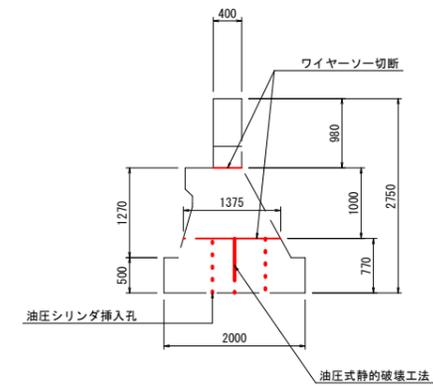
図面番号	第 3 号 4 枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事 現橋撤去工構造図(その2)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 現橋撤去工構造図(浜橋) (その3)

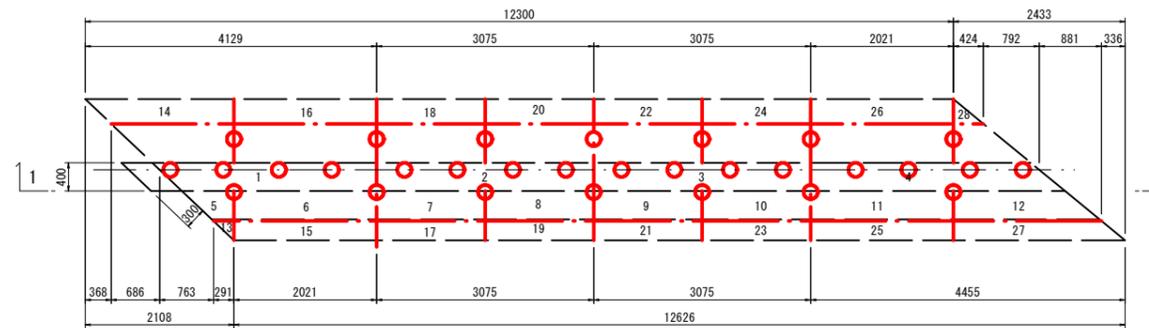
右岸橋台取壊し断面図 S=1:50  
1-1



右岸橋台側面図 S=1:50



右岸橋台取壊し平面図 S=1:50



※既設の下部工の形状、基礎形式不明  
(形状、基礎工推定)

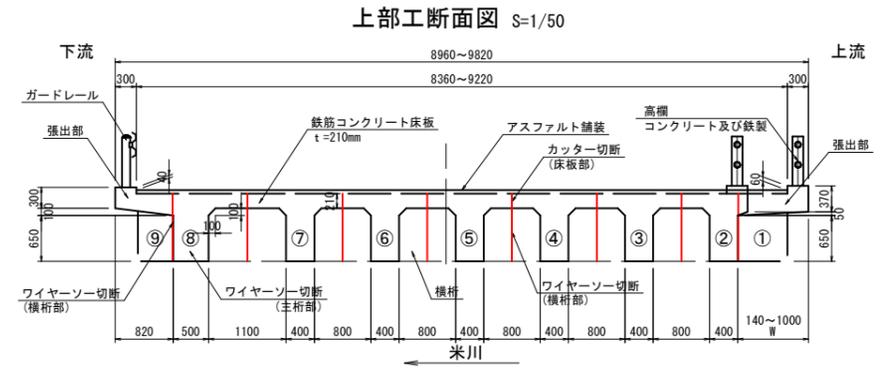
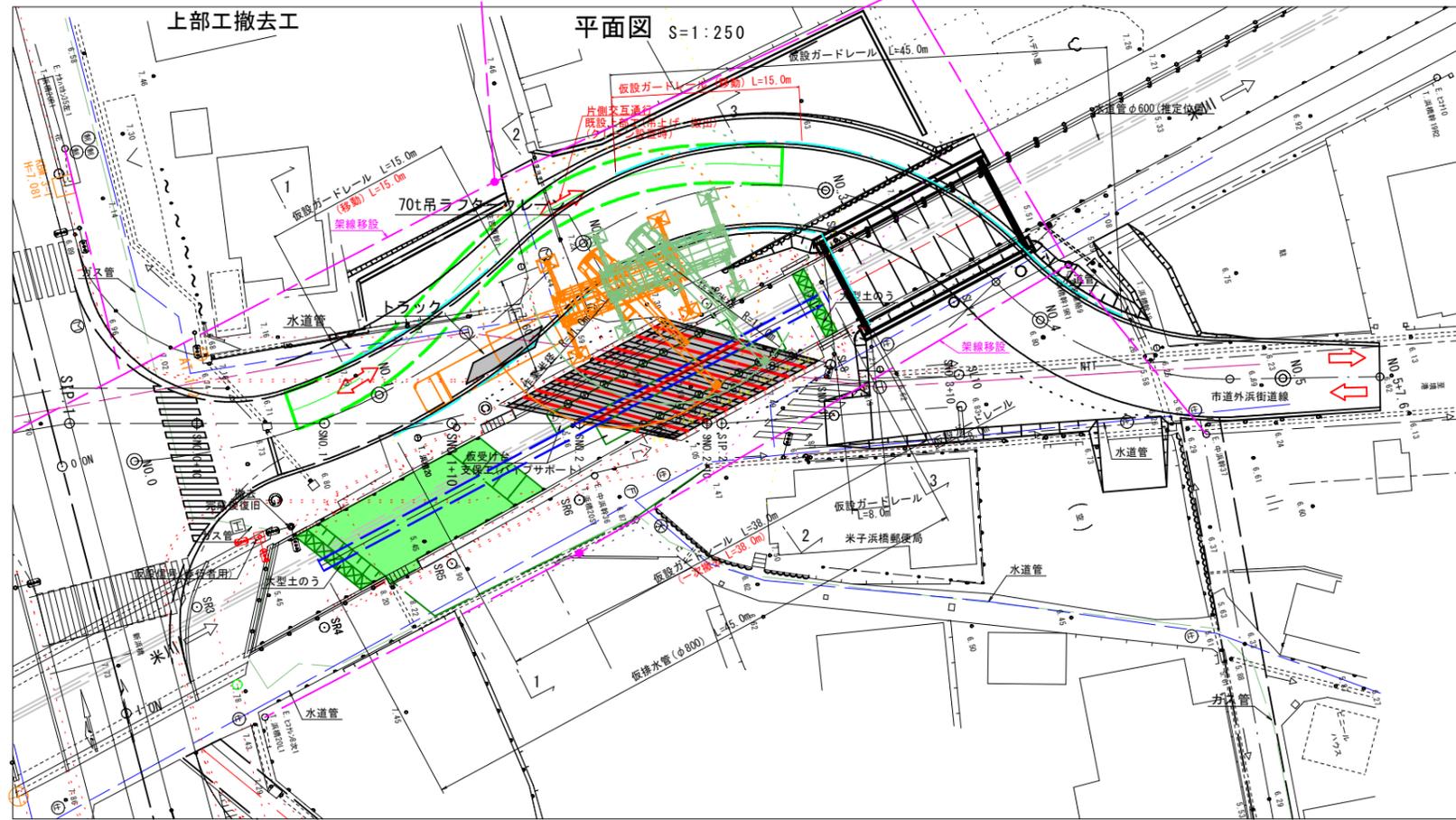
○ : 油圧シリンダ挿入孔 (φ200)  
削孔間隔 75cm以下

右岸下部工撤去数量表

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
体積 (m <sup>3</sup> )	1.34	1.23	1.23	1.34	1.02	2.02	1.54	1.54	1.54	1.54	2.02	1.26	0.37	1.11
重量 (t)	3.35	3.08	3.08	3.35	2.40	4.75	3.62	3.62	3.62	3.62	4.75	2.96	0.87	2.61
番号	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
体積 (m <sup>3</sup> )	1.41	1.41	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08	1.41	1.41	1.28	0.43
重量 (t)	3.31	3.31	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54	3.31	3.31	3.01	1.01

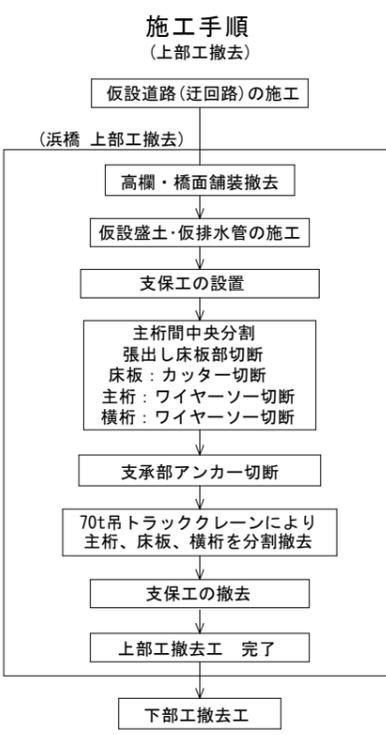
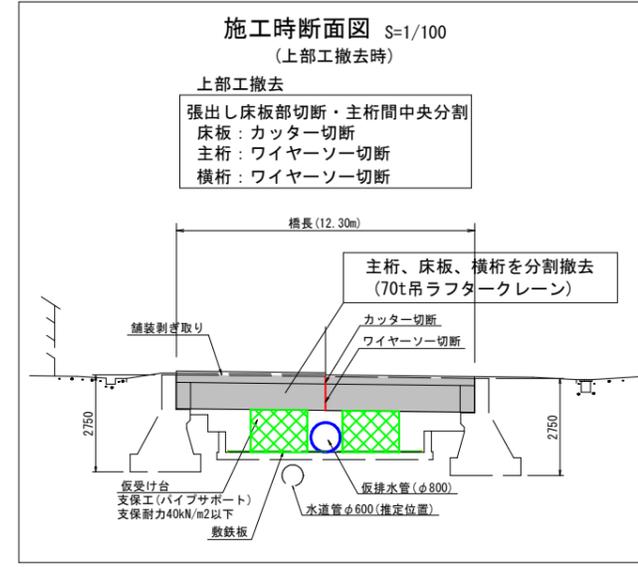
図面番号	第4号 4枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事 現橋撤去工構造図(その3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 上部工撤去工図(案)



主桁、床板、横桁撤去数量表

番号	体積 (m <sup>3</sup> )	重量 (t)	分割重量 (t)	
			左岸側	右岸側
①	2.42	6.05	6.05	—
②	6.43	16.08	7.68	8.40
③	7.58	18.95	9.48	9.48
④	7.58	18.95	9.48	9.48
⑤	7.58	18.95	9.48	9.48
⑥	7.58	18.95	9.48	9.48
⑦	8.09	20.23	10.12	10.12
⑧	7.83	19.58	9.93	9.93
⑨	3.34	8.35	4.12	4.12



70t吊ラフタークレーン 能力表

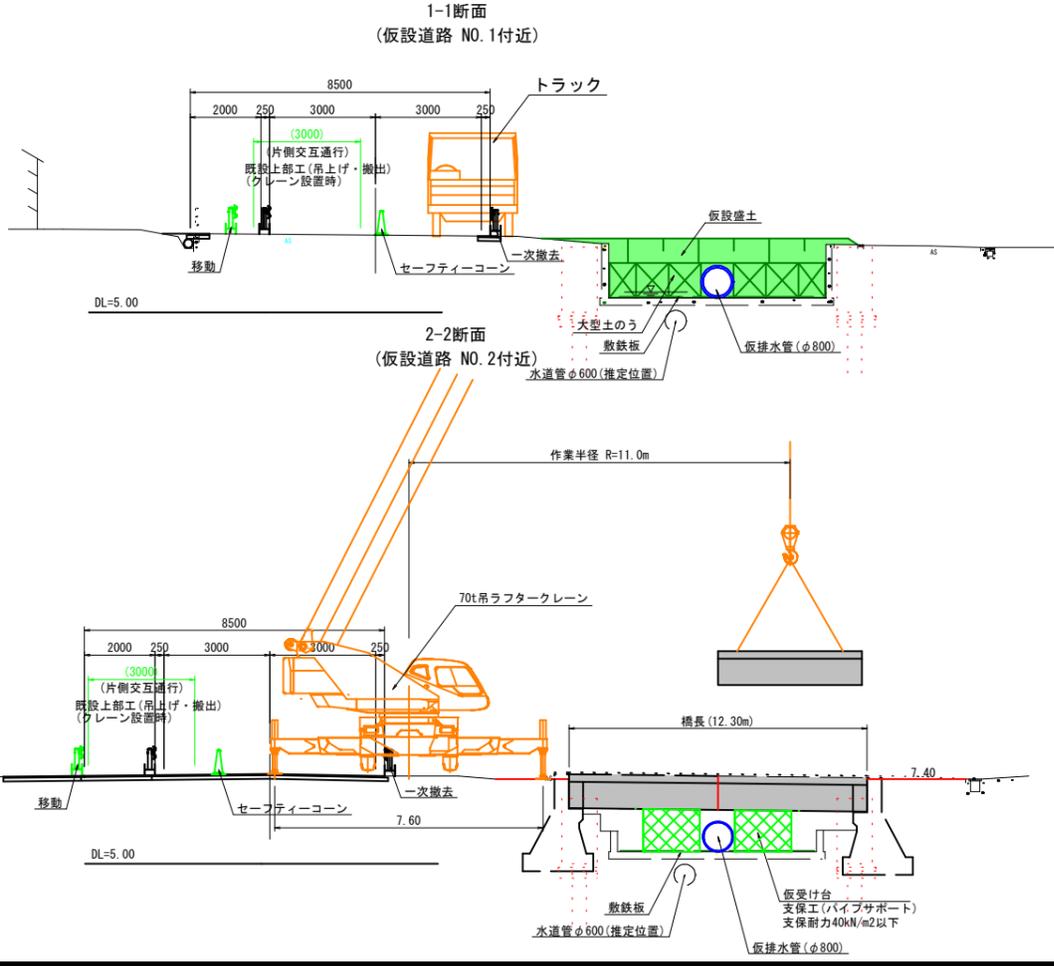
アウトリガ最大張出 (7.6m) (単位: ton)

作業半径 (m)	16.6m ブーム	23.5m ブーム	30.3m ブーム	37.2m ブーム
6.0	31.3	22.9	12.5	12.0
6.5	29.1	21.4	12.5	12.0
7.0	26.4	20.1	12.5	12.0
8.0	22.0	17.9	12.5	12.0
9.0	17.3	16.0	12.5	12.0
10.0	14.5	13.3	12.5	12.0
11.0	12.0	11.0	12.3	11.1
12.0	10.0	9.5	10.3	10.3
13.0	8.45	8.3	9.2	9.4
14.0	—	7.05	8.0	8.1
16.0	—	5.1	6.0	6.5

出典: タダノトラッククレーン (GR-700N型) アウトリガ最大張出(全周) W=7.6m

## 施工上の留意事項

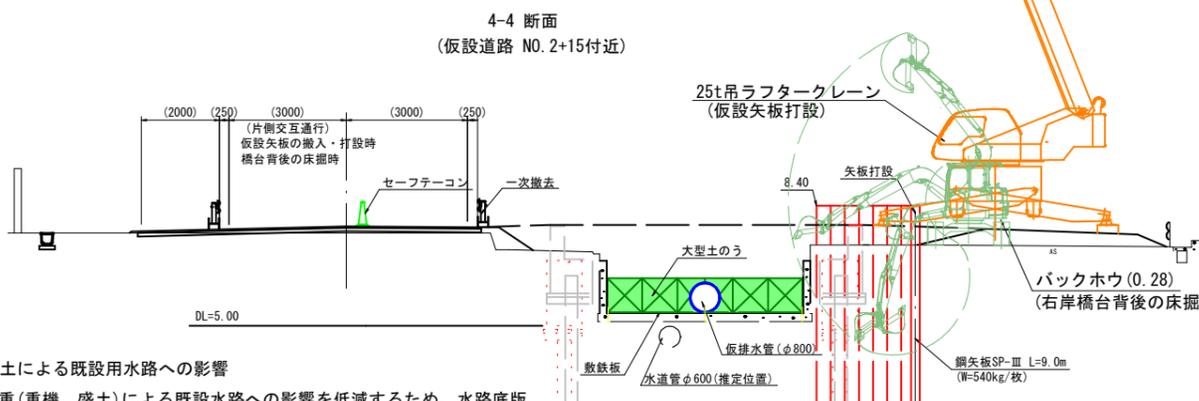
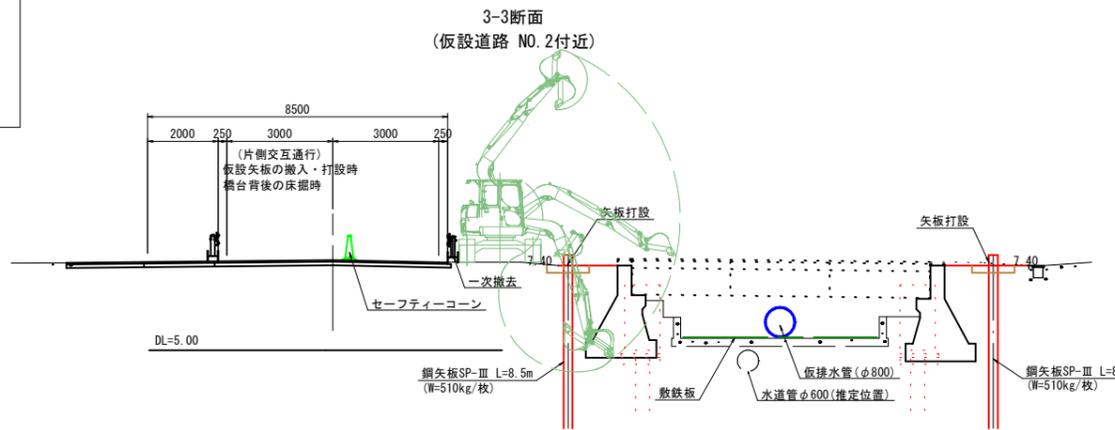
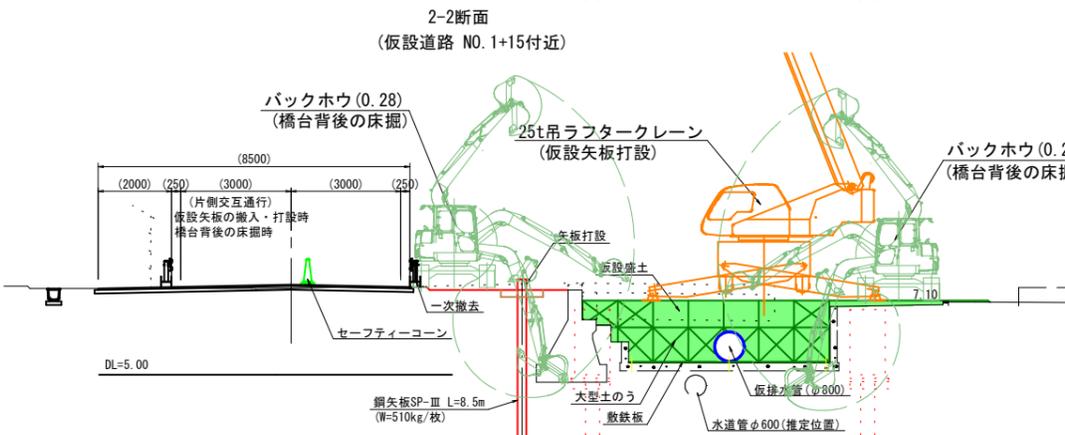
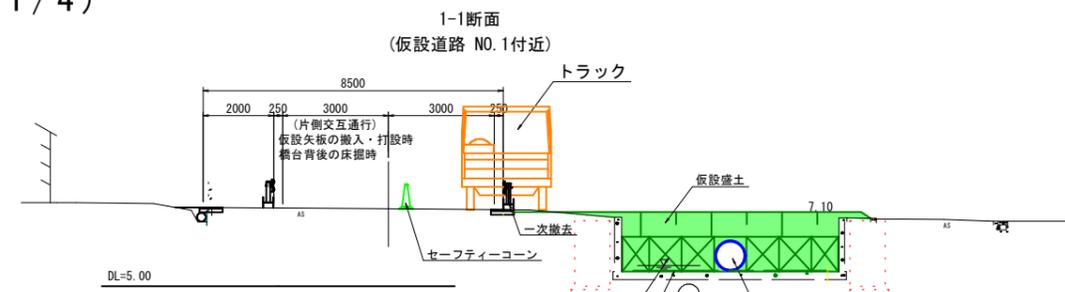
- 重機、資材等の搬入について
  - 輸送経路となる道路の部材輸送上の条件 (建築限界、交差点、橋梁の耐荷力) を確認しておくこと。また施工時の付近交通の交通規制等の確認を行うこと。
- 上部工撤去時(吊上げ・搬出)の交通規制について
  - 仮設道路部にクレーン等を設置する場合、一時的に片側通行が必要となる。当施工時は規制帯から信号機(交差点)までの距離が近く、滞留長の確保が困難であり、下記の方法による片側交互通行とする。
  - 信号絡みの片側交互通行の方法
    - 規制帯から信号機(交差点)までの距離が近い場合、信号機に合わせて片側交互通行とする。
    - 当施工では信号が一回変わるごとに交代で車を流す方法を想定している。
  - 片側交互通行時の車線について
    - 片側交互通行時は防護柵を移動させることにより車線幅員を確保(歩道幅員を縮小)する。
- 仮設盛土による既設水路への影響
  - 増加荷重(重機、盛土)による既設水路への影響を低減するため、水路底版には敷鉄板等を既設する。
  - 既設水路底版下面に隙間が発生していた場合重機、盛土の荷重により部材へ増加応力が発生、コンクリートにひび割れ破壊等が懸念される。
  - 施工前に底版部の調査(打音調査等)を実施し、変状を確認した場合は必要に応じて、補修等を実施する。



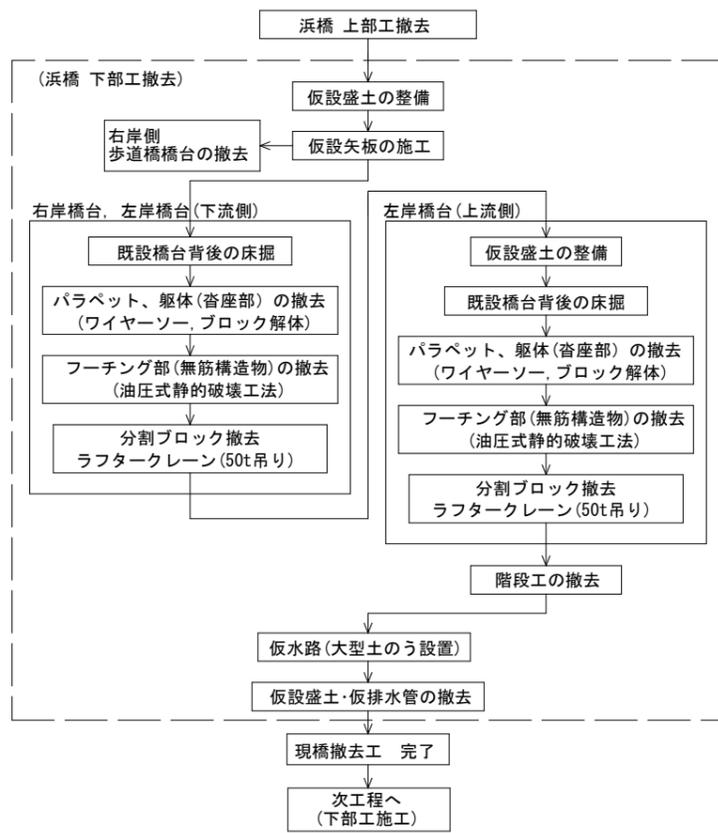
図面番号	第1号 6枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事
	参考図 上部工撤去工図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 下部工撤去工図(案) (1/4)

## 下部工撤去工(仮設矢板打設)



## 施工手順(下部工撤去)



25t吊ラフタークレーン 能力表  
アウトリガ最大(6.3m)張出(全周) (単位: t)

作業半径 (m)	16.5m ブーム	23.5m ブーム	30.5m ブーム
6.0	14.6	11.2	7.0
6.5	13.8	10.6	7.0
7.0	13.0	10.1	7.0
8.0	10.55	9.1	7.0
9.0	8.5	8.2	6.4
10.0	7.05	7.4	5.9
11.0	5.85	6.4	5.35
12.0	4.95	5.5	4.9
13.0	4.2	4.75	4.5
14.0	3.6	4.1	4.15
15.0		3.6	3.8
16.0		3.15	3.45
17.0		2.8	3.05
18.0		2.45	2.7
19.0		2.15	2.45
20.0		1.9	2.2

矢板重量 :  $w=0.6t$   
 フック質量 :  $w=220kg$  (主巻220kg)  
 吊り上げ荷重 :  $W=0.6+0.22=0.82t$   
 作業半径 :  $R=15.0m$   
 ブーム長 :  $L=23.5m$   
 定格総荷重 :  $W=2.45t > 0.82t$

圧入機本体重量 :  $7.0t$   
 フック質量 :  $w=220kg$  (主巻220kg)  
 吊り上げ荷重 :  $W=7.0+0.22=7.22t$   
 作業半径 :  $R=8.0m$   
 ブーム長 :  $L=23.5m$   
 定格総荷重 :  $W=9.1t > 7.22t$

出典: タダノトラッククレーン (GR-250N型)  
 アウトリガ最大張出(全周)  $W=6.3m$

### 施工上の留意事項

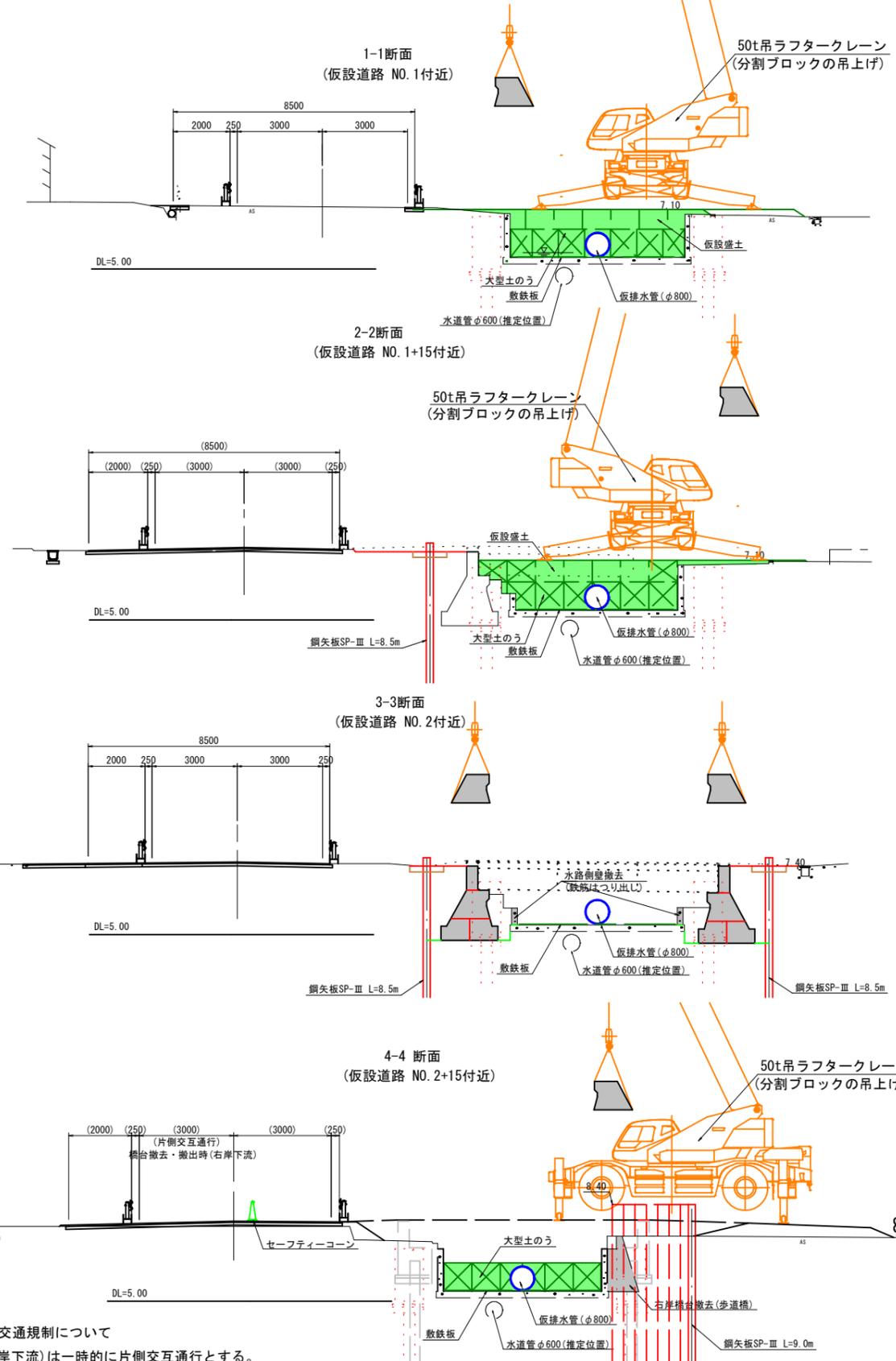
- 重機、資材等の搬入について
  - ・輸送経路となる道路の部材輸送上の条件(建築限界、交差点、橋梁の耐荷力)を確認しておくこと。また施工時での付近交通の交通規制等の確認を行うこと。
- 下部工撤去工時(仮設矢板打設)の交通規制について
  - ・仮設矢板の搬入・打設時は、一時的に片側通行が必要となる。当施工時は規制帯から信号機(交差点)までの距離が近く、滞留長の確保が困難であり、下記の方法による片側交互通行とする。
  - ・信号絡みの片側交互通行の方法
    - ・規制帯から信号機(交差点)までの距離が近い場合、信号機に合わせて片側交互通行とする。
    - ・当施工では信号が一回変わるごとに交代で車を流す方法を想定している。
- 仮設盛土による既設水路への影響
  - ・増加荷重(重機、盛土)による既設水路への影響を低減するため、水路底版には敷鉄板等を既設する。
  - ・既設水路底版下面に隙間が発生していた場合重機、盛土の荷重により部材へ増加応力が発生、コンクリートにひび割れ破壊等が懸念される。
  - ・施工前に底版部の調査(打音調査等)を実施し、変状を確認した場合は必要に応じて、補修等を実施する。

図面番号	第2号 6枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち橋梁撤去工事
縮尺	参考図 下部工撤去工図(1/4)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

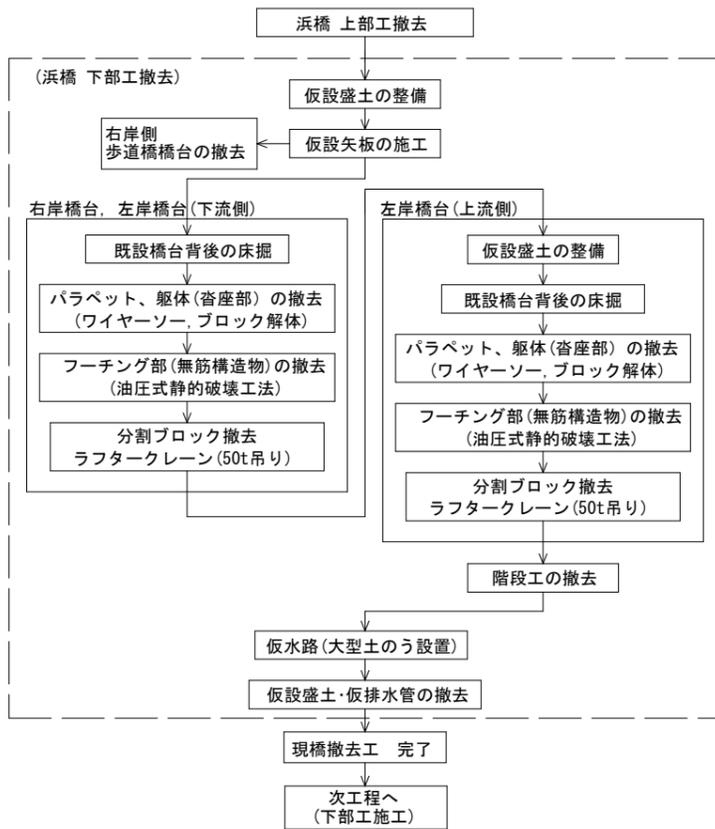
# 下部工撤去工図(案) (2/4)

下部工撤去工(右岸橋台, 左岸橋台(下流側)撤去工)

平面図 S=1:250



## 施工手順(下部工撤去)



### 50t吊ラフタークレーン 能力表

アウトリガ最大(7.4m)張出(全周) (単位:t)

作業半径 (m)	16.0m ブーム	22.3m ブーム	28.6m ブーム	34.9m ブーム
10.0	12.3	11.9	10.5	9.3
11.0	10.2	9.9	9.6	8.5
12.0	8.5	8.25	8.8	7.8
13.0	7.1	6.9	7.9	7.1
14.0		5.9	6.9	6.6
16.0		4.3	5.2	5.7
18.0		3.0	4.0	4.5
20.0			3.1	3.5
22.0			2.35	2.75

出典: タダノトラッククレーン (GR-500N型)  
アウトリガ最大張出(全周) W=7.4m

吊上げブロック w=3.62t  
フック質量 - w=460kg (主巻460kg)  
吊り上げ荷重 - W=3.62+0.46=4.08t  
作業半径 - R=16.0m ブーム長-L=28.6m  
定格総荷重 - W=5.2t > 4.08t

吊上げブロック w=5.12t  
フック質量 - w=460kg (主巻460kg)  
吊り上げ荷重 - W=5.12+0.46=5.58t  
作業半径 - R=13.0m ブーム長-L=28.6m  
定格総荷重 - W=7.9t > 5.58t

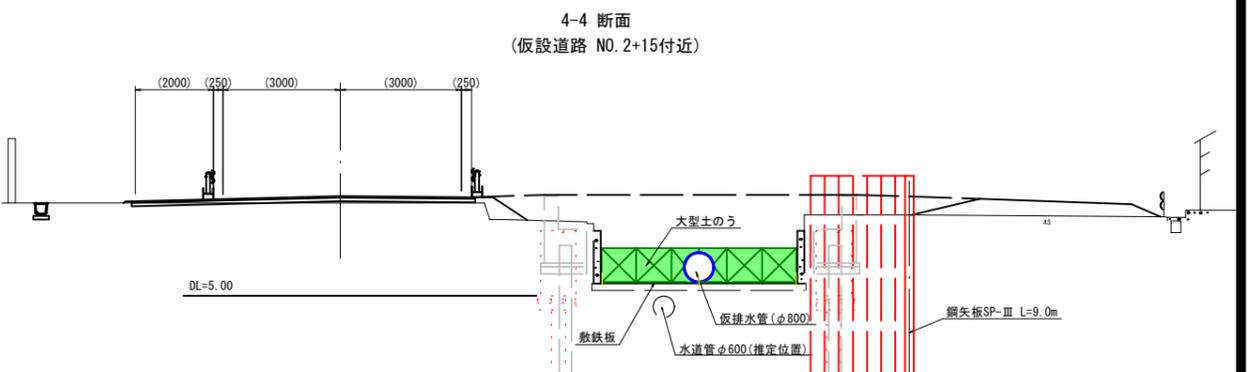
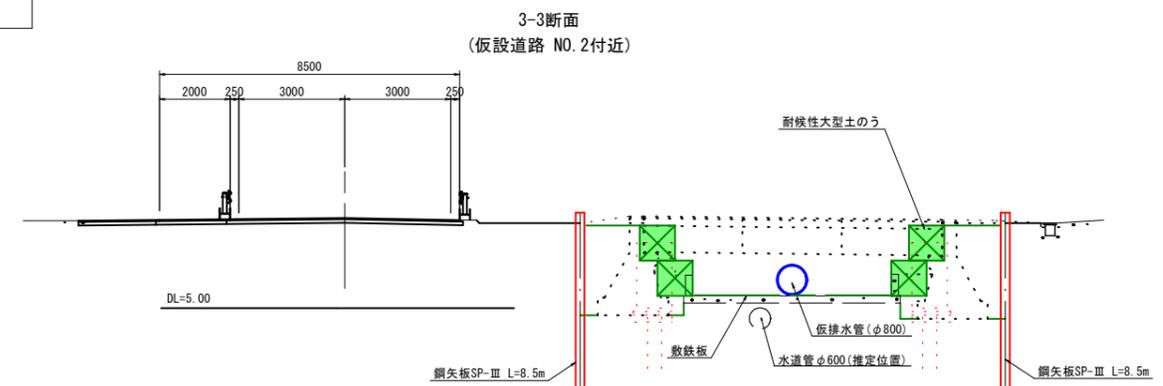
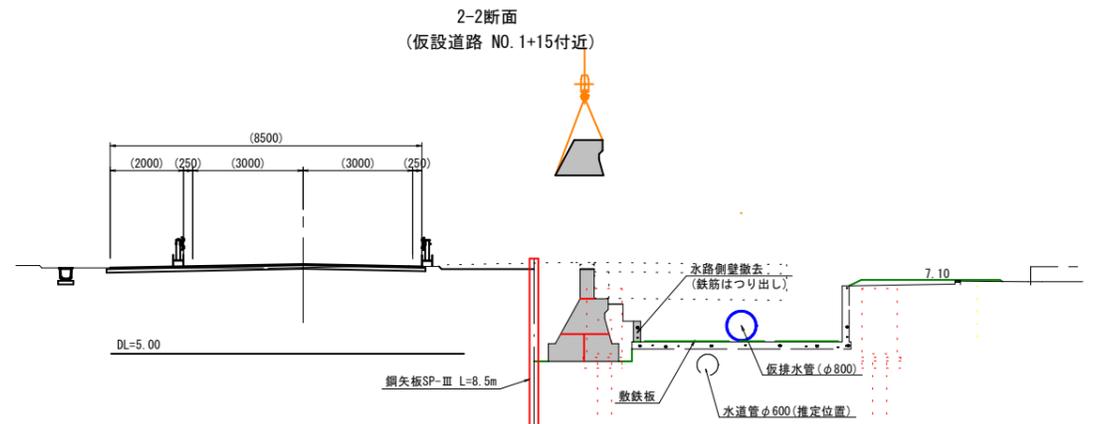
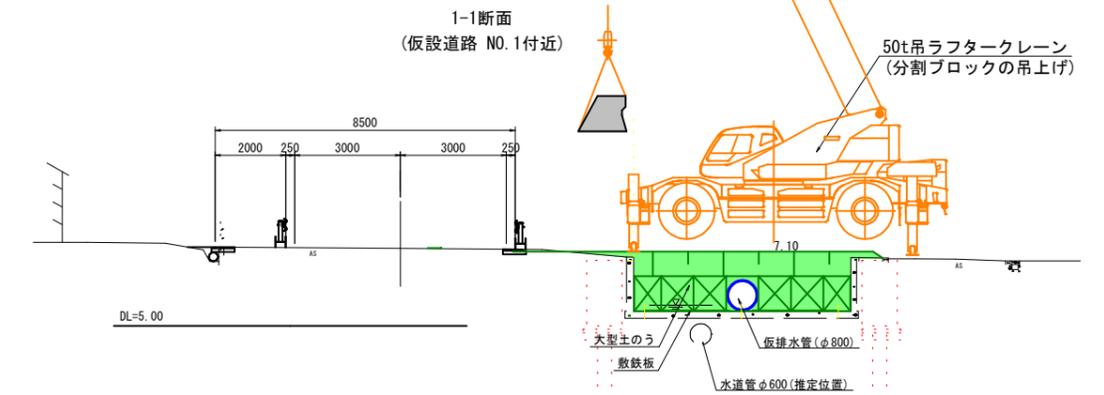
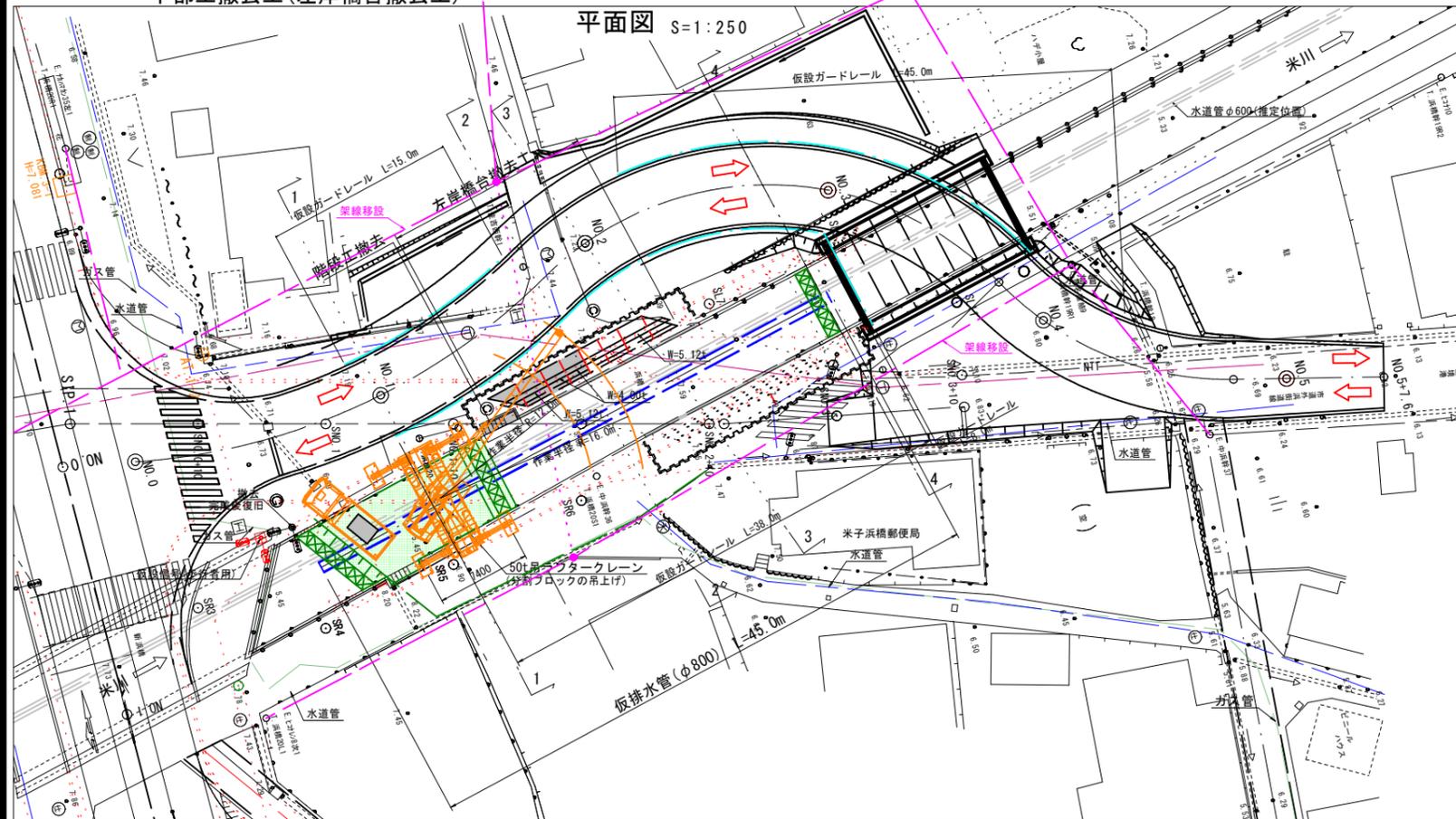
### 施工上の留意事項

- 橋台撤去・搬出時の交通規制について  
橋台撤去・搬出時(右岸下流)は一時的に片側交互通行とする。
- 既設水路側壁の撤去は、鉄筋をはつり出しとすること。

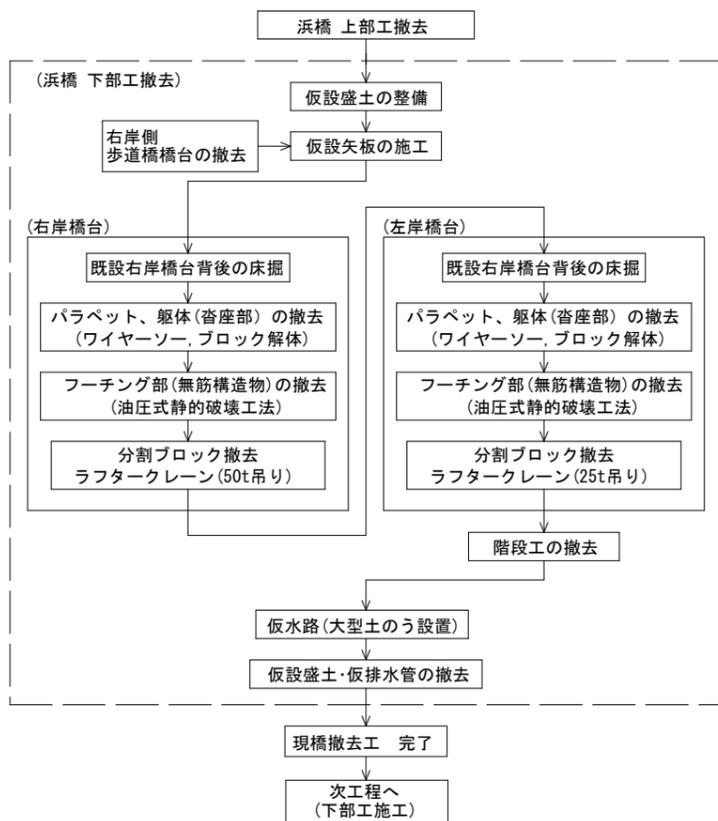
図面番号	第3号 6枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事
縮尺	参考図 図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 下部工撤去工図(案) (3/4)

## 下部工撤去工(左岸橋台撤去工)



## 施工手順(下部工撤去)



### 50t吊ラフタークレーン 能力表

作業半径 (m)	アウトリガ最大(7.4m)張出(全周) (単位:t)			
	16.0m ブーム	22.3m ブーム	28.6m ブーム	34.9m ブーム
10.0	12.3	11.9	10.5	9.3
11.0	10.2	9.9	9.6	8.5
12.0	8.5	8.25	8.8	7.8
13.0	7.1	6.9	7.9	7.1
14.0		5.9	6.9	6.6
16.0		4.3	5.2	5.7
18.0		3.0	4.0	4.5
20.0			3.1	3.5
22.0			2.35	2.75

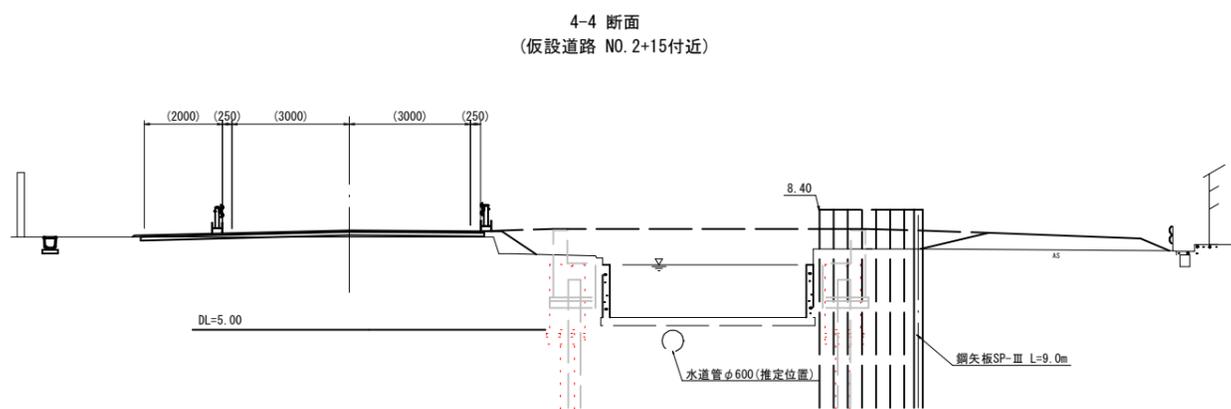
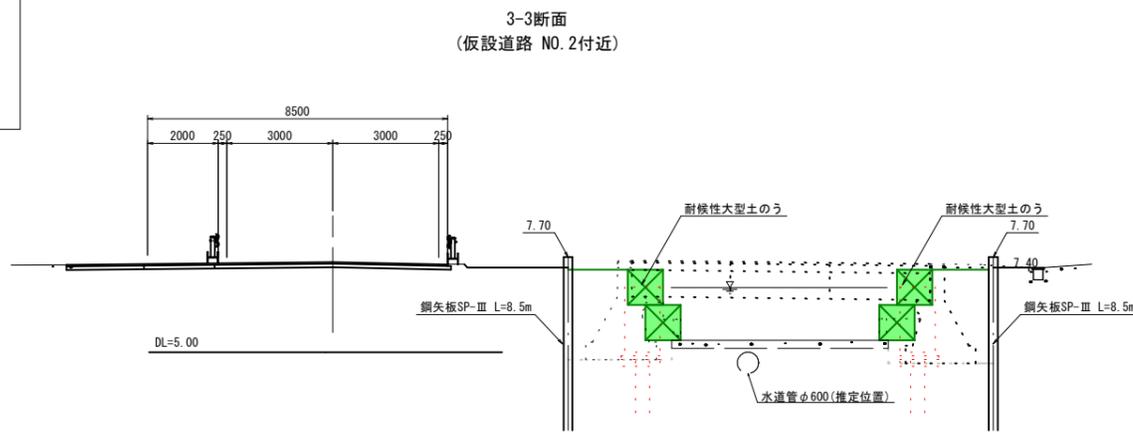
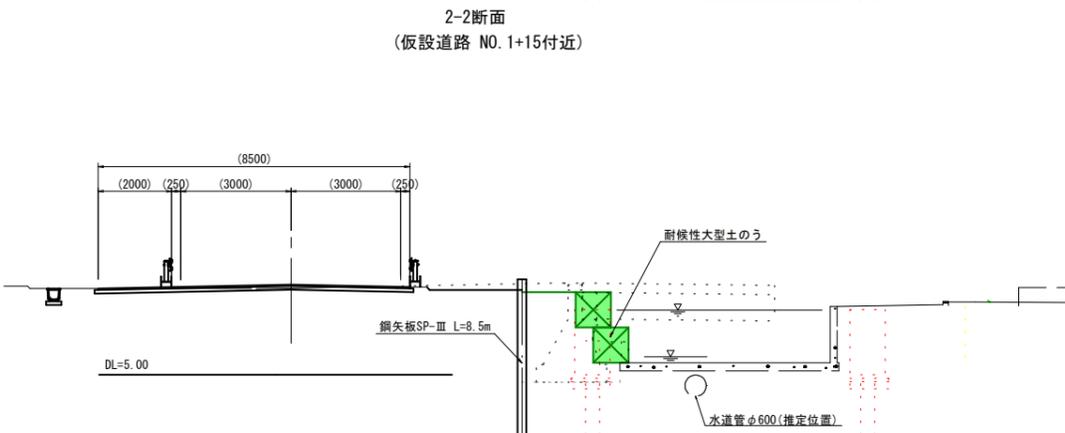
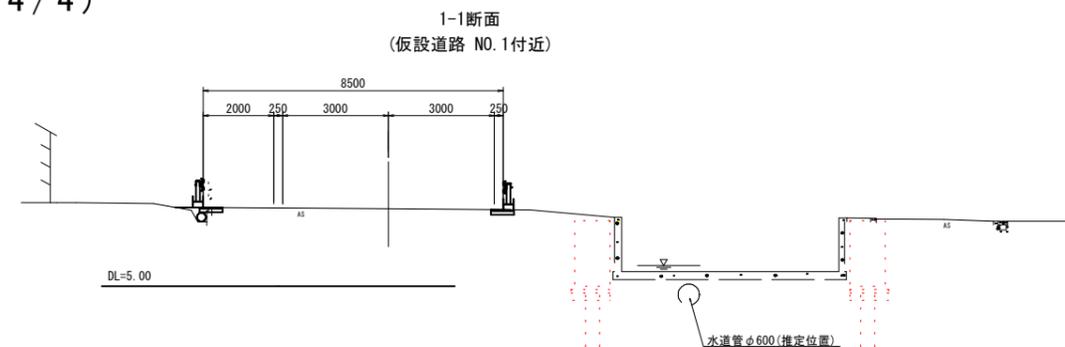
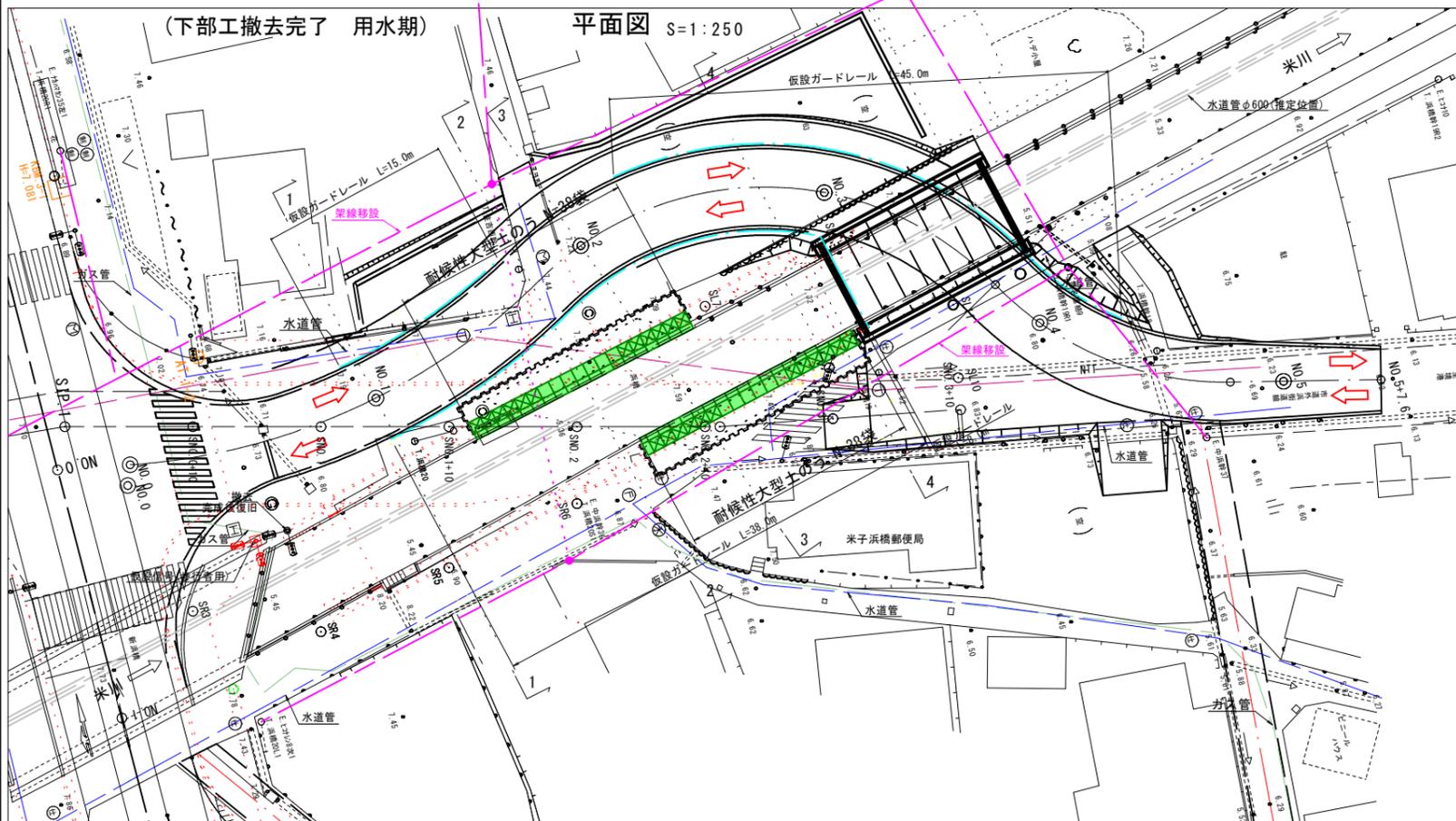
出典: タダノトラッククレーン (GR-500N型)  
アウトリガ最大張出(全周) W=7.4m

吊上げブロック w=3.62 t  
フック質量 - w=460kg (主巻460kg)  
吊り上げ荷重 - W=4.0+0.46=4.46t  
作業半径 - R=16.0m ブーム長-L=28.6m  
定格総荷重 - W=5.2t > 4.46t

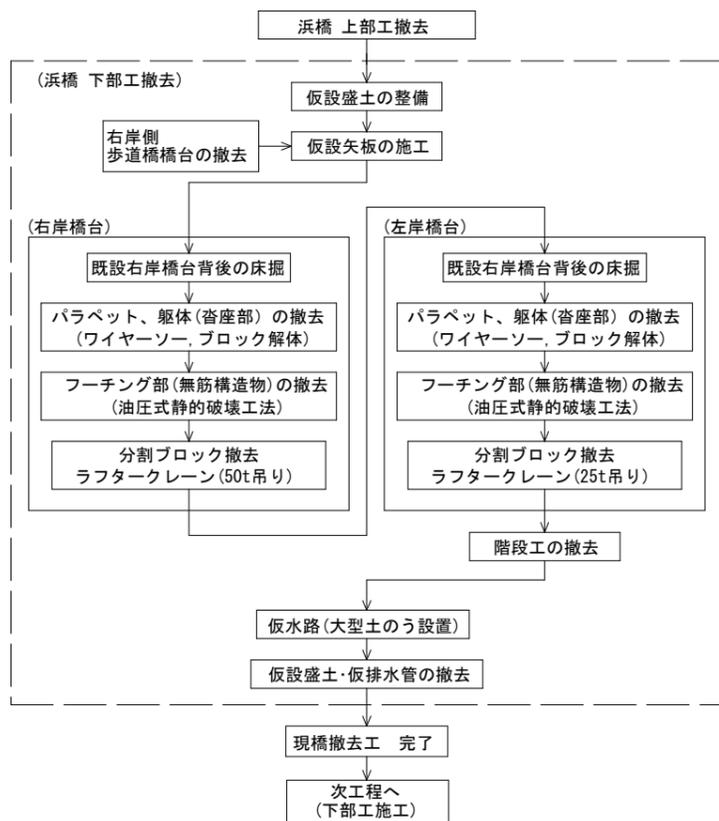
吊上げブロック w=5.12 t  
フック質量 - w=460kg (主巻460kg)  
吊り上げ荷重 - W=5.12+0.46=5.58t  
作業半径 - R=12.0m ブーム長-L=28.6m  
定格総荷重 - W=8.8t > 5.58t

図面番号	第4号 6枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事 参考図 下部工撤去工図(3/4)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 下部工撤去工図(案) (4/4)



## 施工手順(下部工撤去)



図面番号	第5号 6枚内
図面名称	市道外浜街道線(浜橋)改良工事うち 橋梁撤去工事 参考図 下部工撤去工図(4/4)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	
(A3出力時縮尺: 図示×50%)	

# 仮設土留め工構造図

(現橋撤去時)

平面図 S=1:100

